



質の高い国際共同教育プログラムを実施するため条件

国際共同教育プログラムの構築、実施について

■ CONTENTS ■

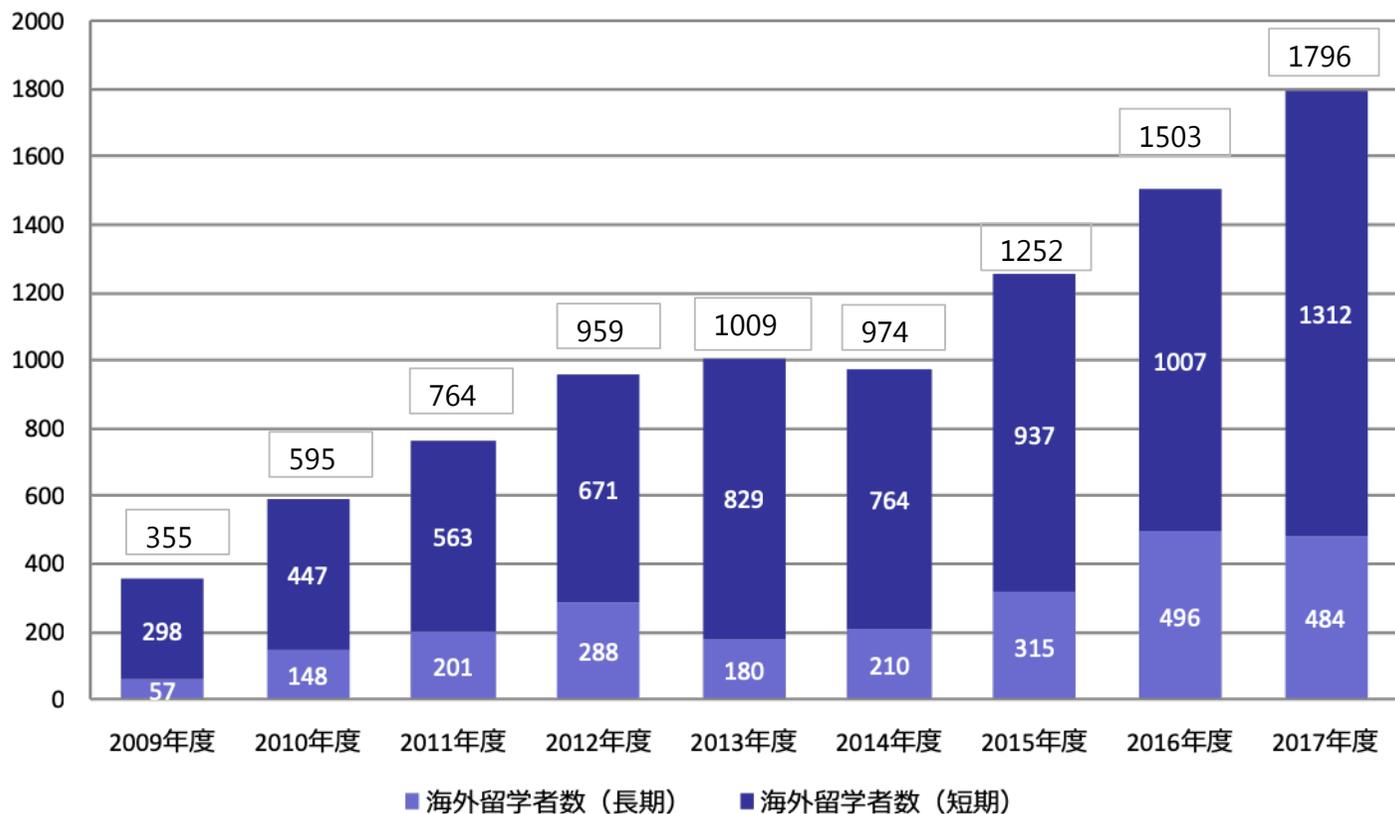
1. これまでの実績
2. 「3ステップ」モデル～短期からダブル・ディグリーへ
3. 「3ステップ」モデル～実績を基盤とした相互信頼の構築
4. 権限委譲を軸とした意思決定システム
5. 海外拠点の有効活用(明治大学アセアンセンター)



明治大学における学生モビリティの推移 1 (2009~2017)

取組名称： Global 30, グローバル人材, 大学の世界展力(3事業), Top Global University

■海外に留学する日本人学生数■

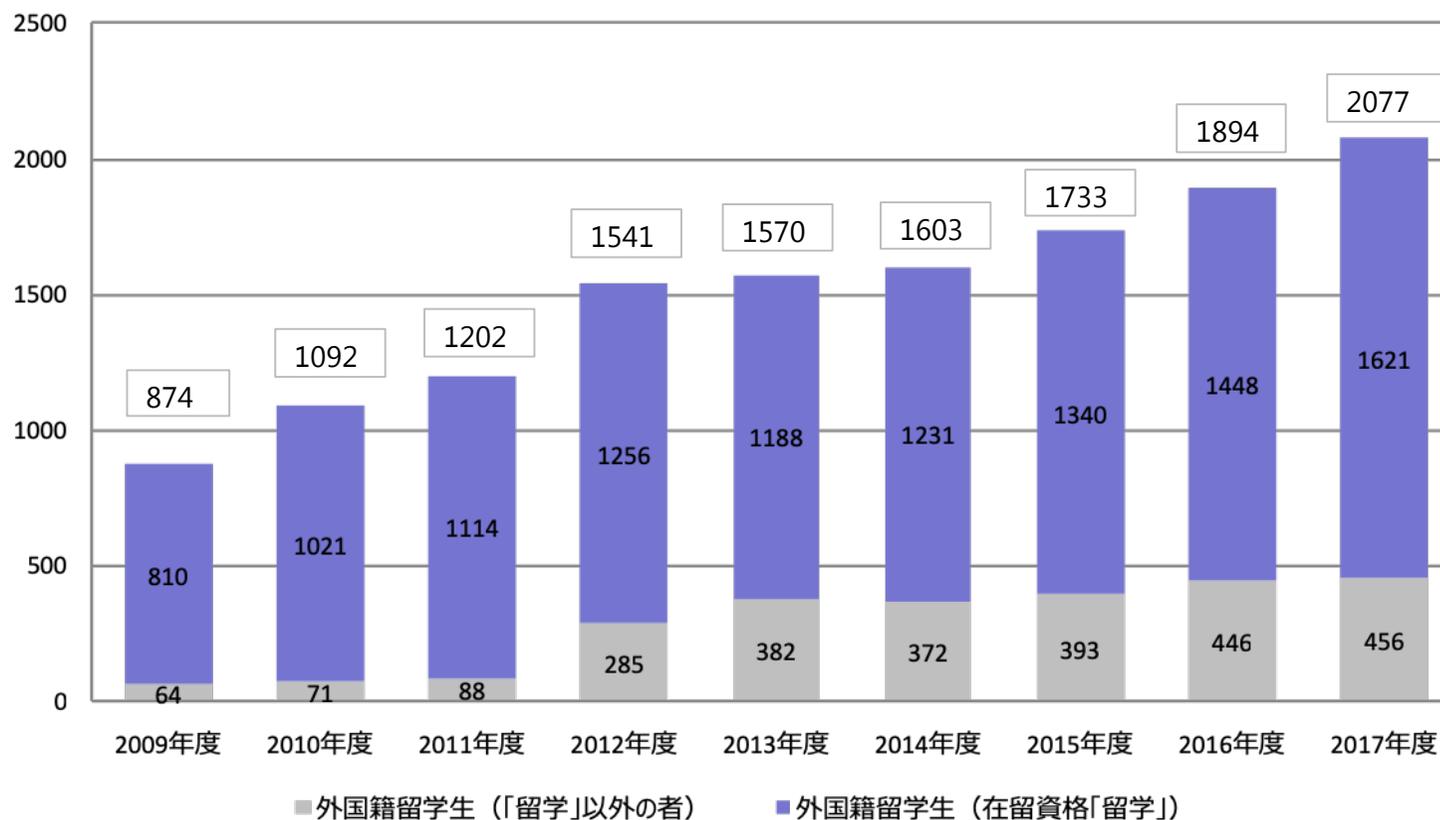




明治大学における学生モビリティの推移 2 (2009~2017)

取組名称 : Global 30 , グローバル人材, 大学の世界展力 (3事業) , Top Global University

■本学への留学生数■





取組名称：日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム（平成24年度～平成28年度）

■海外に留学する日本人学生数■

達成目標	達成状況
530人（延べ数）	589人（延べ数）

■受け入れる外国人学生数■

達成目標	達成状況
515人（延べ数）	463人（延べ数）



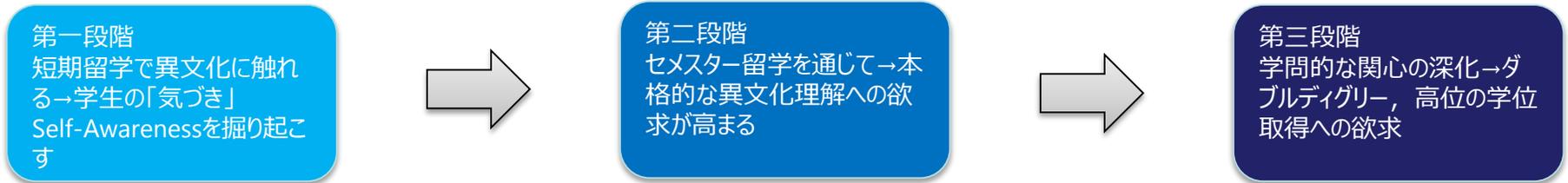
取組名称：CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造(平成28年度～平成32年度)

平成28年度				平成29年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
35人	38人	6人	6人	121人	133人	80人	73人



「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」を支える条件

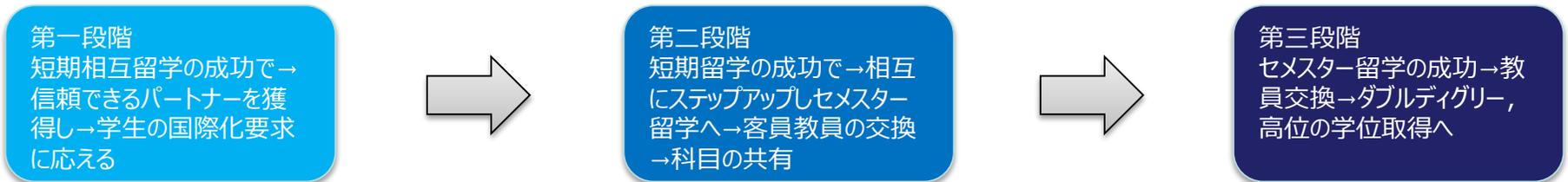
■学生の「気づき」を高度な国際連携教育につなげる■



CMLV参加部局(政治経済学部, 情報コミュニケーション学部, 理工学研究科建築・都市学専攻建築学系及び国際建築都市デザイン系)の取組:

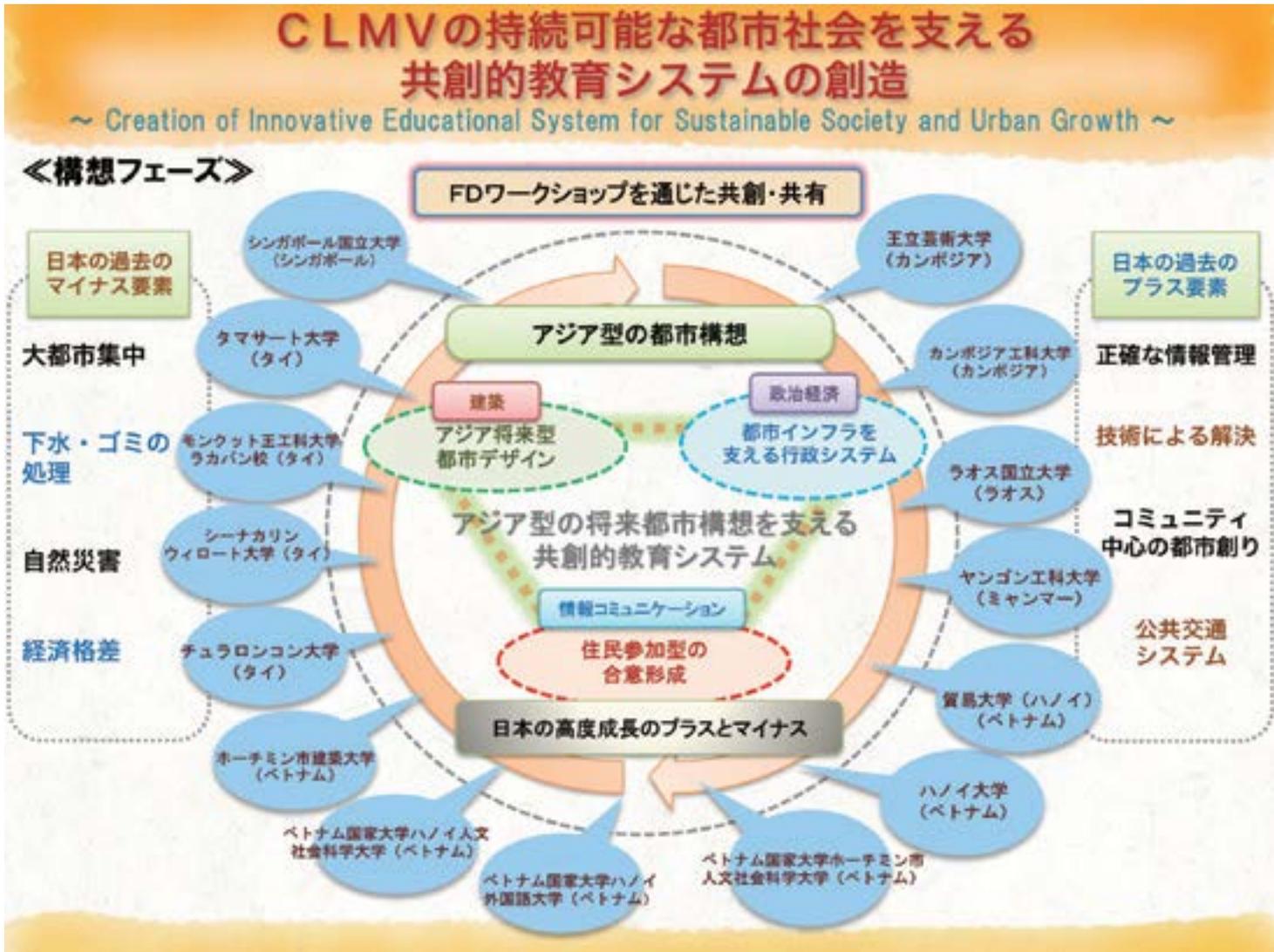
- (1) 政治経済学部: チュラロンコン大学, タマサート大学, チェンマイ大学, シンナカリンウイロー大学, キングモンクット大学, 南洋理工大学, ベトナム国家大学等との長年の相互短期留学・セメスター留学, 客員教員交換, タマサート大学とのダブルディグリー(予定)等。
- (2) 情報コミュニケーション学部: ベトナム国家大学ハノイ外国語大学, ハノイ貿易大学, シンナカリンウイロート大学, インドシナ交流等。
- (3) 理工学研究科: チュラロンコン大学建築学部, シンガポール国立大学設計・環境学部, ラオス国立大学に加えて, カンボジア工科大学, 王立芸術大学, ヤンゴン工科大学, ホーチミン市建築大学とのワークショップ開催。交換留学等。

■大学間の相互信頼の醸成■





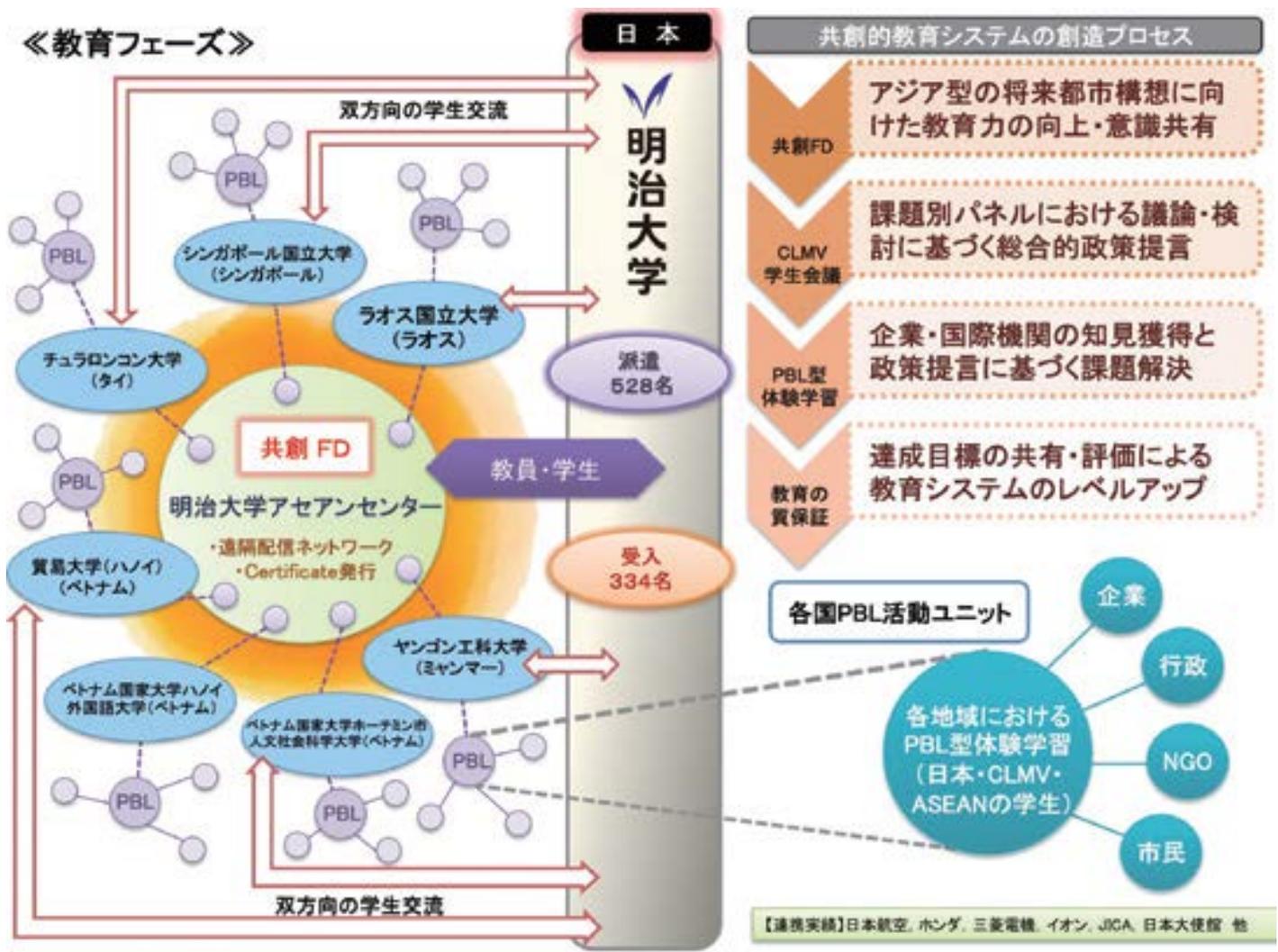
取組名称：CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造(平成28年度～平成32年度)



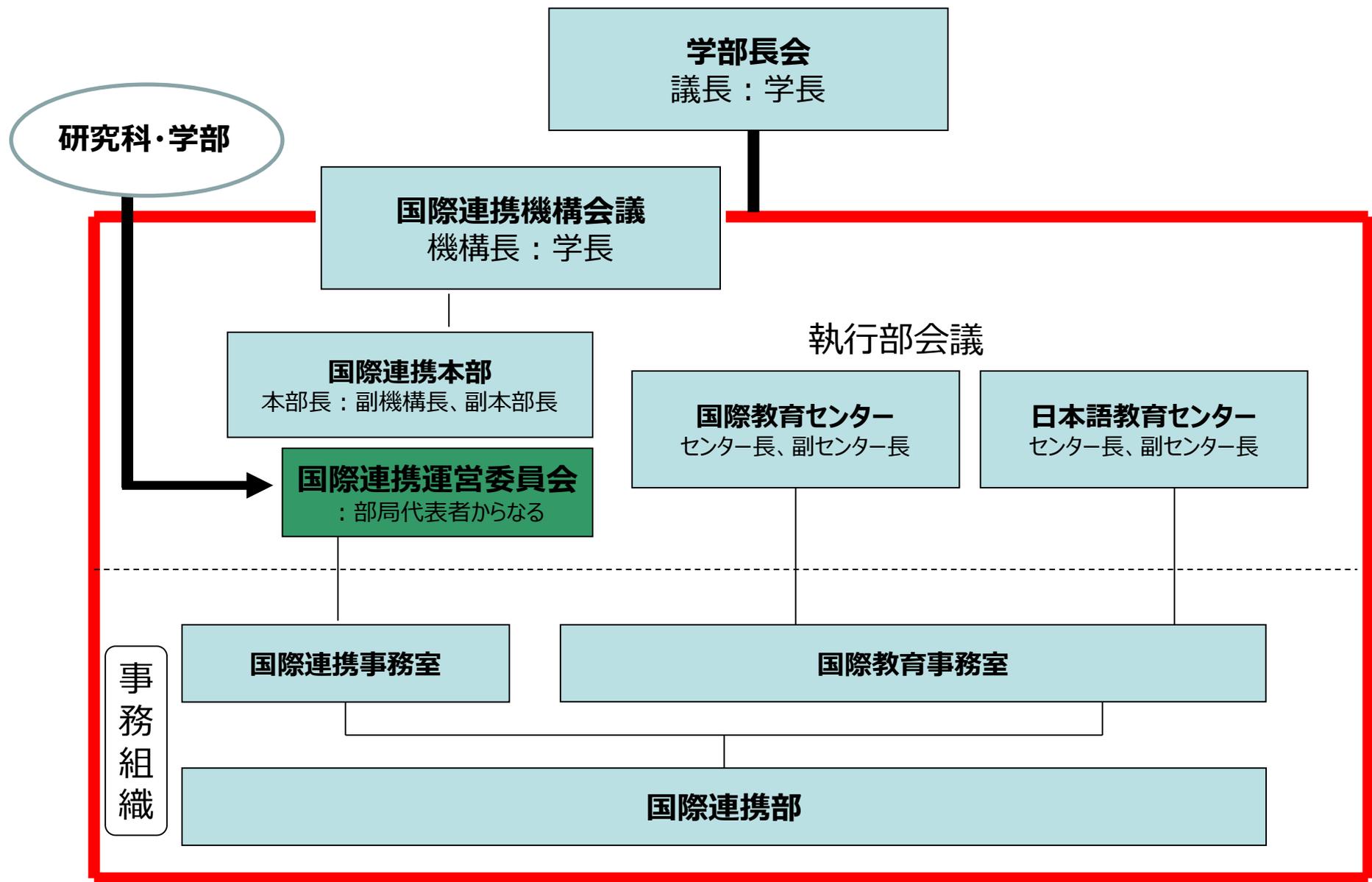


文部科学省「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」

取組名称：CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造(平成28年度～平成32年度)



国際連携機構組織図



権限委譲を軸とした意思決定システム

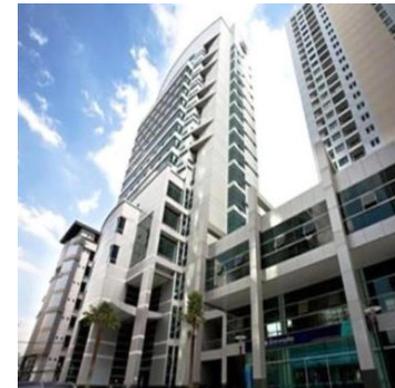
1. 学長が国際的な学術・教育の政策立案・実施部署(国際連携機構長)を兼ねることで、国際連携に関わる意思決定が一本化されていること。
2. 大学全体の国際連携に関わる事項(大学間協定, 各種プログラムの実施に関わる事項, 派遣留学生の決定, 学生寮の運営に関わる事項他, 項目数にして80%近く)が、国際連携機構の本部, 国際教育センター, 日本語教育センターへの委任事項となっているため、意思決定の時間が大幅に縮減されていること。現在では、会議の数・回数共に大きく減少し、会議時間も1時間以下で終了する場合がほとんどである。
3. 予算に関わる事項, 単位の認定に関わる事項, 各学部・研究科のカリキュラムに関する事項については、国際連携機構の中にある国際連携運営委員会(各部局の代表から構成)に諮り承認を得た上、教授会等の審議を経て決定される。しかし、単位認定を伴う新規プログラム等の実施については、全部局の承認を待たず参加を希望する部局からプログラムを実施する方針(この指止まれ方式)に変更している。

海外拠点の有効活用：明治大学アセアンセンター



明治大学では、東南アジアの大学との連携を図る拠点としてタイ王国、バンコクに位置する提携校であるシンナカリンウイローと大学のサービスビルディング10階をまるごと借り受け、2013年5月に**明治大学アセアンセンター**（事務室、ラウンジ、教室2室、ゼミ室2室、共同研究室、会議室の約500平米）を設置。

世界展開力2事業（**日本ASEANリテラシー**、**CLMV共創的教育システムの創造**）を実施すると共に、各学部・研究科の東南アジア地域における、短期留学・研修、さらには明治大学とシンナカリンウイロート大学をオンラインで結んだ、日本語・日本事情の授業提供、タイ語授業受入等を実施してきた。



アセアンセンターが、在外公館、JSPS、JASSO、JICA、タイ政府機関、NGO等との接触、タイ、ラオス、シンガポール、カンボジアベトナムの大学との連携活動の拠点、情報収集の拠点として機能。

本学からの留学生（長期）の交流拠点、バンコク周辺の大学学生との交流拠点。日本の他大学（特に東京外国語大学他）からの留学生へのオールジャパンの視点からの交流空間提供。リスク管理の拠点として機能。

学術、教育、交流活動の安定した環境を提供

